

海軍歷史

卷十一至卷十三

五

國立保健醫學科學院圖書



10012147

DI
5
11

D1
5

海軍歴史卷之十一

小笠原島開拓之中

目録

ウエブ對話

丸木船

ウエブ對話

冬時氷雪ヲ不見

颶風ハ十月十一月ノ候ニアリ

歐洲ノ風習問答

シヨ―チホ―ツン對話

昭和24年11月7日
高宮篤氏
寄贈
公衆衛生院

DI
5
11

海軍歴史卷之十一

小笠原島開拓之中

戊正月十日小笠原島洲崎村ニおゐて英人ウヰエブニ對話書

一其方儀此程不快之趣如何ニ候哉

一三日程平臥罷在頭痛等致シ全風邪之容躰ニ有之候

一醫師等も連れ越シ奥村之邊ニ差置候間右様之節罷越診察

爲致可申候

一私妻義三ヶ月以前より不快ニ而晝夜三四度ツ、下痢

仕當惑罷在候

一幸ひ今日醫師召連候間早速診察爲致可申候

一難有奉存候

此時官本元道婦人診察致ス

一其方所有之畑地見分致置度過日支配向之者より申談候處
近日案内可致旨申聞候由今日幸ひ拙者共罷越候ニ付見分
可致候

一御案内可申上候

一此間中より借受置候建物買上申度差支無之候哉

一右者當時不用ニ付御用立置候ハ差支無之候得共御買
上相成候而者當惑仕候

一左候ハ、建懸相成居候分ハ如何ニ候哉

一右者本屋ニ附屬致候建物ニて右無之候而者差支候
間是又御買上之義御免奉願候

一此方ニ而も追々建物等致候積ニ候得共永々借受置候てハ

其方ニ而も不都合ニも可有之存候間双方之都合を計買上
之義申入候處差支之趣ニ候上老今迄之通り借受置可申候
一右建物者當時不用ニ付御用立置候ニハ決而差支無之
候

一丸木船一艘餘計之分有之候ハ、買上申度候

一近頃新造ニて未々一度も遣ひ不申船有之候

一右之船買上度存候

一十六ヶ月程已前丸木船造製之爲奥山にて立木伐枯
置候分有之候右を私所用ニ仕候而不替候哉

一夫ハ差支無之候併此後右様之節者其都度々々申立差圖を
受取計可申候

一承知仕候右御聞濟被下候ハ、此程仕立置候新造船ハ

差上候様可仕候併船之善惡ハ見懸ニハ寄不申御乗様
ノ無之候而者相分不申候間近日御乗様ノ御座候様仕
度奉存候

一其方仕立候船ニ候得者別段乗様ノ不及候得共申越候趣
も有之候間近日相様ノ可申候

一左様相願申候

一此程支配向之者より炭焼之義相尋候由如何ニ候哉

一多分御入用ニ候哉

一多分入用ニ候

一左候ハ、四日程も相懸り可申候

一夫ハ此方ニ而爲焼可申候ニ付何日相懸り候共差支無之右
焼方此方ニ而も心得候者有之候得共西洋之方術よてハ格

別宜敷可有之哉ニ存候間相尋候事ニ候何れ近日傳授致
吳候様致度候

一承知仕候

一今日引合筋是ニ而相濟候間是より買上船一見可致候

一御案内可申上候

此時ウエフ案内よて濱之方ニ相越

一此船價之如何程ニ候哉

一二十ドルヲルニ有之候

一械之附屬致ノ居候哉

一二挺相添差上可申候

一帆之如何ニ候哉

一帆之有之候得共柱ハ無之候

一右者此方ニ而見本借受取建候間差支無之早速乗様之上二十ドルヲルニテ買上可申候

一承知仕候

一明日午後畑地見分之引合可致候

一承知仕候

右ニ而畢ル

同月十一日同所ウエフ對話書

小笠原島洲崎村居住罷在候英人ウエフ所有之畑地爲見分同人案内爲致袋澤ハ罷越見分之節應接

一此より東之方ハ奥村セイボレ妻之持地ニ有之私持地ハ此より左三ヶ所ニ散在いゝ居此所も私作付候地

所ニ有之候

一只今迄作付有之場所者已後其方地所ニ取極可遣候得共入無之場所者此方ニ而國民へ作らせ候積ニ有之此邊者全其方手入致候様相見候間以後共其方持地ニ取極可遣候

一難有奉存候此佗貳ヶ所も御見分奉願候

一案内可致候

此時同所より北之方畑地案内致

一此所も其方鍬入候地所ニ相違無之候ニ付其方持地ニ取極可遣候

一難有奉存候

此時北之方畑地ハ案内致此一ヶ所者澤芋のみ取上候得共地所ハ御取上ニ相成候而も宜敷候

一左候得者右芋成熟候迄其儘置不苦候

一難有奉存候一体此邊者カナカ人某と申者之地面ニ候處右之者先年歸國仕候ニ付私共引受申候

一九とヘカナカ人之地面ニ候共右之者當島を引拂候上者主無之地面ニて既ニ百五十年前ハ日本人住居罷在候處其後引拂候ニ付カナカ人并其方共勝手ニ作付いゝ所有之様心得居候義ニ有之候

一二百年前迄ハ御國人并魯人壹人居住致居候趣其八ヶ年前魯國軍艦當島ニ渡來之節承り申候

一右者魯國コモドールフーチャチン乗組之船ニ候哉

一魯國船はフレガット壹艘測量船壹艘帆前船壹艘并二本柱之船壹艘都合四艘ニ有之船將名ハ心得不申候此

邊者澤芋已前ハ丈高く人肩を没シ候位ニ候處八ヶ年前之大津波ニ而悉く枯涸仕候

一其後も此邊迄潮打上候様之事有之候哉

一年々颶風之節者此邊迄六尺位ツ、海潮押上申候

一右様之事ハ一ヶ年何程位も有之候哉

一大概一ヶ年一度ニ有之候

一颶風無之年も有之候哉

一私當島ニ罷越候以來颶風無之年ハ僅ニ一ヶ年ニ而其餘者毎年有之候

一多ハ何月比ニ候哉

一多分西洋八九月より十一月頃迄之間ニ有之候

一春夏ハ無之哉

一颶風と申候程之事ハ無之候得共暴風者折々吹申候
 一畑地見分相濟候上ハ最早引取不苦候
 一私持地今一ヶ所有之候間御見分可被下候
 一見分可致候

此時同所より平地續き壹町半程西之方蘆原ハ案内致
 ス此場所私之持地ニ有之候處一兩年以前より農事手
 廻り兼候ニ付打捨荒地ニ致置申候

一過刻も申入置候通り當荒廢相成居候地所ハ此方ハ取上候
 積ニて此場所も追々國民共手廻り兼此儘打捨置候ハ、時
 宜次第貸遣可申候得共先ッ差當取上候間左様心得可申
 候

一難有承知仕候

一其方宅ニ同居罷在候英人トマシト申者ハ農業をも平世手
 傳爲致候哉

一同人職業と拙ニ而農事等心得不申候間宅ニ差置薪水
 之世話と爲致置申候

一其方より給料等差遣可置候哉

一同人と病氣ニ而當島ハ居殘候者ふて別段相頼み候者
 ニハ無之候間衣食と給可候迄よて給料等者差遣不申
 候

一此方ニ而も昨日買上候船帆柱等取立候間相雇申度其節ハ
 此方ニ而食料丈ハ相給可申右ふて差支無之哉

一私方ニ而者差支無之候得共出來候哉否之處者御受合
 仕兼候

一 杣等之職業ニ候得者帆柱位ハ出來可申存候其方歸宅次第
當人ト申聞置ヘク候

一 承知仕候

一 相雇候節ハ支配向之者より可申入候間早速差越候様致度
候

一 承知仕候

右ニ而畢ル

戊正月十三日於洲崎村英人ウエフト對話書

一 當月ニ入テ寒氣強相覺候年々右様之時候ニ候哉

一 平年當月ニ入候得者暖氣相催候農事等も宜敷候處當
年ハ左ニ無之一体寒き年ハ御座候

一 一体當地之氣候老十二月と正月老何れカ寒き方ニ候哉

一 右兩月共寒氣強候得共何共難申上候

一 雪老降り候事も有之候哉

一 霰ハ折節ふり候事も有之候得共雪ハふり不申候

一 氷ハ如何ニ候哉

一 氷ハ張候事無之候

一 先年大津波之節ハ何れ之邊迄海潮押上候哉

一 是より東南山下迄打上申候

一 此度此方ニ而切開候扇浦々之山道上リ口邊迄押上候哉

一 西北山裾より右山道下迄押上申候

一 此家も右已前取建候哉

一 右以前ニ有之候

一家ハ何れ迄潮浸リ候哉

一此邊者地高ニ付押上ケ不申候

一昨年之颶風之何之方向より吹出候哉

一東南より南之方ニ相廻申候

一何月幾日ニ候哉

一昨年十一月三日ニ候

一何時頃より吹出何時頃吹止候哉

一曉天より輕風吹出追々烈敷第十一時頃彌強終ニ西北

ニ相廻リ第六時頃相收申候

一毎年颶風ハ終日位之事ニ候哉又ハ兩三日も打繼き候事も

候哉

一大凡十二時位之間ニ有之候

一颶風之節之雨交リ候哉

一雨之降り候節も有之又降り不申時も有之候

一昨年之如何ニ候哉

一昨年之雨降り不申候

一地震之如何成哉

一折々有之候

一強き方ニ有之哉

一強弱難定候

一人家之潰れ候様之事も有之候哉

一左程之事之無之候

一雷之如何ニ候哉

一強き事ハ無之候

一其方を何歳ニ候哉

一四十三歳ニ有之候

一當島に相越候以前者何れニ居留心ニ候哉

一千八百四十六年東國より鯨獵船ニ乗組ギニアムに相

越病氣ニ付同所に残り同所より又候米國捕鯨船ニ而

當所に渡來候處病氣再發ニ付相止り其後右船迎と

て参り吳候處此港口ニ而颶風ニ逢ひ船損候ニ付直ニ

夫より修復之爲右船東印度バタビヤに相越候趣其

後渡來不致候ニ付其儘當島に居留罷在候

一當島を颶風多分何月頃ニ候哉

一多くを十月十一月頃ニ有之候

一其本國ニ而者多分同月頃ニ候哉

一本國颶風を多分春秋ニ有之候

五六年以前本國近傍ニ而百五十艘程颶風之爲ニ覆没

仕候由ニ候

一右ハ其國港内ニ繫泊候船ニ候哉

一左ニ無之本國と佛國との間へトと申處ニて都而航海

中之船ニ有之候

一當所の颶風ハ第六月七月之間ニハ無之候哉

一私十五年住居仕候内六月有之候者僅一度有之候

一第三四五月比を颶風無之哉

一右時節を颶風を無之候得共大風ハ折々吹申候

一多分何方位より吹候哉

一多分北東南東之風有之候

- 一 本國ニ而者其方何を職業といふ候哉
- 一 車匠ニ而水車其外製造仕候職業ニ御座候
- 一 農業者心得居候哉
- 一 右者不案内ニ有之候
- 一 兩親を今以て存在候哉
- 一 父を私幼年之砌失ひ母を私一度航海いさし歸國之節
既ニ没申候
- 一 兄弟ハ何人ニ而候哉
- 一 男壹人女三人有之候
- 一 生國を英國之内何と申所ニ候哉
- 一 サレと申郡ニ而トケンと申所ニ有之倫敦より十二里
程奥ニ有之候

- 一 其國ニ而る職人等々國王より手當筋有之候哉
- 一 右等之義ハ無之候
- 一 農商等ハ如何
- 一 政府ハ被使候外を無之候
- 一 諸職業之運上を如何ニ候哉
- 一 夫々運上を有之候
- 一 其方々如何程差出居候哉
- 一 右者身代之大小地面之廣狹家之大小ニ寄差出候間一
様ニハ無之候
- 一 百姓之身代を政府ニ而者相分間敷何ニ而見据候哉
- 一 大体外見之様子世上之風聞等ニ而相分申候
- 一 左候ハ、時々家之盛衰ニ寄取立方相違有之哉

- 一 巨細之處ハ相心得不申候
- 一 如何様小前之者ニ候共運上ニ取立候哉
- 一 假令一家を持居候共壹人暮ニて日傭ニ出候位之者ニ差出不申候右様之者ニ而も人夫ヲ相雇ひ居候位之力有之者ニ矢張差出シ申候
- 一 職業之人ヤ勝手次第何職ニ而も差構無之哉
- 一 構ひ不申候
- 一 商人ニ如何ニ候哉
- 一 商人ニ區別有之豚牛其外日々食物ヲ商ひ候者ハ上ハ國王より下ハ庶民迄必用之物件故家株も極り居運上ハ相收不申其外酒烟草並紙等ニ至リ候而者商賣勝手次第ニて運上相納申候

- 一 運上取立方者如何之割ニ候哉
- 一 輸入船等ハ積荷高ニ不拘船之トシ數ニ寄取上申候割合ハ相心得不申候
- 一 本國之人民他國罷越候節ハ逸シ訴出候哉
- 一 夫々訴出申候
- 一 他國より歸國シ候節者如何ニ候哉
- 一 運上所役人輸出入共船中相改候間訴候と同様ニ有之候
- 一 本國ニ而者家柄ニハ拘り不申候哉
- 一 家柄之者ハ人々尊敬いたシ且高貴之官に上り申候
- 一 農商等よりも高官ニ上り候哉
- 一 器局次第高官ニ上り申候

一右高官之者之子は如何ニ候哉

一右者父之身代地面等ハ讓受候得共器量無之者ハ庶民ニ相戻り申候

一其本國ニ而最第一之官者何と申候哉

一第一等ハヅーカと申候官ニ有之次をローデ次ハマリスエシと申候

一ヅーカ官之者幾人程有之哉

一多人數有之候

一盡く龍動ニ罷在候哉

一本國各所ニ散在ハ多ク候

一龍動ニ而者何と申官最尊く候哉

一同所ニ而もヅーカより上官を無之候

一俸祿者如何ニ候哉

一相辨不申候

一文官ニ候哉武官ニ候哉

一平常之文官ニ候得共矢張軍事ニも關係仕候

一三官を外國在留之ミニストルとハ席順何とウ上ニ候哉

一ミニストルをヅーカローデ之二官より博學之者相撰假令其已下より起遷致し候共右二官之格を爲持差出申候尤腕とを相心得不申候

一當時日本在留ミニストルルセルホルトアールコツクを存居候哉

一聞及無之候得共多分ヲーヘルハルトと申者ニ可有之右兄弟者高貴之大名ニ有之候

一其方本國ふて女王に拜謁し候哉

一途中夫婦ふて出行候節度、行合申候

一右夫老何より参り候哉

一ロピテン國之王子ニ有之候

一下民共途中ふて女王に行合候節ハ禮義に候哉

一冠物ハ取候事も有之冠物に手を懸候のみふて一體に

ふ候事も有之尤平人と同様歩行致し候間女王たる

事を不辨通行に候方多有之候

一女王遊歩之節者何處の場所ニ而飲食致し候哉

一平人遊歩之地に者参り不申一門或ハ大名等之宅ニ無

之候而者相越不申候

一供奉之者等ハ召連不申候哉

一女王遊歩之節ハ平人同様之服ふて供奉之者ハ無之只

夫婦兩人ニ而連行致し候尤從者之中兩三人ハ跡より

附添候事も有之哉ニ存候

一女王老何歳ニ候哉

一當年第五月ニ相成候得者四十三歳ニ有之候

一本國ふて一年相雇候人夫給料ハ如何程ニ候哉

一一年雇切之事ハ無之長く共一周日ふて給料ハ一日一

ドルヲルより一ドルヲル半ニ有之一周ニ而者四ドル

ヲル位ニ有之候

一大刑者何之罪科ニ候哉

一重きハ人殺ニ有之候

一右刑法ハ如何ニ候哉

一 獄屋ニ繫置吟味之上縊殺以多候
一 科料ハ有之候哉

一 米國ニ者有之由承り候得共本國ニ者無之候
一 右人殺之次者如何ニ有之候哉

一 他人より金子等を相添貰受候小兒を殺候者ニ候
一 密夫ハ如何ニ候哉

一 右罪を犯し候者ハ一ヶ年程入牢以多し置夫と手業爲
致候而已ニ有之候

一 男女共左様ニ候哉
一 同様ニ有之候

一 人ニ傷け候者ハ如何ニ候哉
一 罪無之者に傷け候者ハ疵人より願出入牢爲致置申候

若殺候心組ニ而傷け候者ハ疵人願次第永牢爲致置候
も有之輕きハ一年或ハ六ヶ月程ニ有之候

一 牢内ふて政府之仕事等爲致候事有之候哉
一 左様ニ御座候

一 入牢中ハ政府ニ而養ひ置候哉
一 政府よりパンと水のみ相給し置申候

一 盜ハ如何ニ候哉
一 種々輕重有之多分ハ島流しふて重きハ生涯又ハ七年

十月位之事も有之定限無之尤重き者ハ桎梏以多し置
其内も爲相働申候

一 ソルダートと申者ハ如何ニ候哉
一 十八歳より四十五歳迄之者ニ有之候

一十八歳より四十五歳迄始終ハ遣ハ申間敷年限ハ如何ニ候哉

一十八歳より四十五歳を限り右之内より七ヶ年夫役ニ相用ハ右七ヶ年之内も用事無之時者宅ニ歸リ居候

一給料ハ如何程ニ候哉

一一日之給料三十七セントヨ有之候

一右相勤候後ハ生涯扶助之ため給料等遣ハ候哉

一一ヶ年限相濟老年ニ及候者ハ別ニ養育之場所有之候

一右勤役相濟未タ老年ニ不及者ハ如何ニ候哉

一其砌ハ相構不申候

一大砲隊之ソルダートトハ何れカ尊ク候哉

一大砲隊ハ組頭様之者ヨテソルダートより尊き方ニ有

之候

一本國ニ金銀座有之候哉

一有之候

一貨幣を私ニ造る者ハ如何之罪科ニ候哉

一古昔老縊殺候得共近頃ハ遠島ニ致ハ候

一過日支配向之者より日本貨幣數箇相渡置候處委細了解候哉

一書付相添居候ニ付委細相分申候

一右ハ當島限通用ニ付此後外國船入津候共相渡申間敷尤決而渡方不相成ト申義ニ者無之候得共當島貨幣拂底相成候而ハ差支候間申入置候

一承知仕候

一 外國船入津之節買物いたし候節差支候ハ、右貨幣ハ洋銀
ニ引替可遣候間可申立候

一 承知仕候

一 過日相達置候相場ハ當節之相場ニ有之此後増減も可有之
其節者又く可申達候

一 承知仕候

一 妻不快ハ如何ニ候哉

一 兎角不宜當惑罷在候

一 過日より醫師當村々連れ參居候處藥籠持越不申候ニ付今
日歸船致候間早速藥劑遣し可申候

一 難有奉存候明朝頂戴之爲罷出可申候

一 今日も診察爲致可申候

一 奉願上候

此時官本玄道婦人之房々入

一 架上ニ大分書籍有之何之書ニ候哉

一 國々之記録有名人之傳記ニ有之候

一 本國等之刑法書ハ無之哉

一 所藏無之候

一 彼柱上ニ揚有之候當島港測量圖此程此方ニ而も測量爲致
候間見合之爲借受申度候

一 何ニ而も差上可申候

一 過日拙者共見分いたし候其方畑地場所此度袋澤と名付候
間此段達し置候

一 承知仕候

一右袋澤之方見分相濟候間今日者此邊ニ畑地見分可致候
一御案内可申上候

此時畑地見分罷出右相濟ウエフ持地相定る

一當時建懸相成居候家作當分借受申度差支無之哉

一第四五月頃葱其外野菜取入候節置場ニ仕度候間夫迄

ハ御用立置差支無之候

一兩三ヶ月之間借受申度尙近日支配向之者より可申入候間

合點居候様致度候

一承知仕候

右ニ而畢ル

戊正月廿三日於小笠原島大村

ロビンソン
同 プラボー
同 カレン
ウリヨムゲレン

對話書

一プラボー義當島に到着之年月ハいつ頃ニ候哉

一一千八百三十一年十一月渡來仕候

一何れより罷越候哉

一英國鯨獵船ハツレイスと申船に乘組ロントンより出

帆當島に罷越候

一龍動より直ニ罷越候哉

一途中赤道直下之島々に立寄申候

一夫ハ立寄候計リニテ滞留ハ不致候哉又ハ一ヶ年程も在住

いた候所も有之候哉

一何れも永ハ居不申候一ヶ月或ハ一周二周日位ニ有之

候三乙島并ギアマ兩島にハ薪水取入之ため立寄申

候

- 一 當島よりギーアムに者英國里數ふて何程有之候哉
- 一 同島ハ經線十四度之場所ニて里數ハ曉と相辨不申候
- 一 同島者人家何軒程有之候哉
- 一 凡四五百軒も可有之哉ニ奉存候
- 一 當島最寄ギーアム之外別ニ島々有之候哉
- 一 西之方六十里程之海面ニ巖島有之東之方百八十里程之處ニて三島有之候
- 一 右島々ハ人家有之候哉
- 一 人家ハ無之候
- 一 人家有之島ニてハ何島最も近く候哉
- 一 ギーアム島最も近有之候

一 プラボ―義ハ子供も有之候得者當島ハ永住相願候哉又ハ船便次第歸國之所存ニ候哉

一 妻子等も有之義ニ付素より永住懇望罷在候

一 當島ハ罷越候ハ如何之譯ニ候哉

一 過刻申上候英國鯨獵船ニ而病氣ニ相成不得止相殘申候

一 其節船長ハ訴之上相殘候哉

一 船長ハ暇乞を告げシヨ―セスガレンと同時ニ相殘申候

一 其初當島之内何れの場所ニ住居いたし候哉

一 メラメキチャンブメシヤヲ同様洲崎村ハ貳ケ年程罷在夫より當村ハ引移申候